

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	東松原保育園
活動日時	令和 7年 7月 11日 (金)
クラス名(年齢)	ぱんだ組(3 歳児)

1. 活動テーマ

<テーマ>

色々な物の音を楽しむ(どんな音がするかな?)

<テーマの設定理由>

廃材それぞれの色々な音の違いを知る。力の入れ方で音が違うことを知る。

2. 活動スケジュール

別部屋に色々な廃材を用意して置いておく。→どんな音がするかな?触ってみる。→音を楽しむ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

缶の箱(蓋つき)、ペットボトル、ペーパータオルの芯、ラップの芯、紙の箱、段ボール箱

4. 探究活動の実践

<活動内容>

別部屋に 5 人づつを誘って行った。テーブルにたくさんの廃材が並べられているのを見ると表情が変わった。色々な物があるけど、どんな音がするかな?すぐに色々な物をもって叩き始めた。どんな音がするかな?他の物も使っているんだよ。棒状のもので叩くだけでなく手を使ったり、同じもの同士で叩いたり、箱の中に入れたりして子どもによって色々試している子もいた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① 用意したものを見せ、音を出し始めました。「どんな音がする?」言葉で表現するのは難しいようでしたが考えていました。助言しながら音を表現しました。「カンカン」「ペコペコ」



② 叩くもの持つものを変えながら、音を出して楽しんでいました。「優しく叩いてみたら、どんな音がする?」「ボンボン」「ドンドン」「コンコン」色々な音を出すことをとても楽しんでいました。



③ 「ほら、みて～、これでも音が出るよ。」「ほらこれも見て」と言いながら叩くの見せてくれたり、缶の箱の中に物を入れて振って音を出したりと初めとは違った音の出方を考えて行っていました。



④ その後も遊びながら室内外で色々な物を叩いたり、滑らせたりしながら音が出ることを楽しんでいました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

色々な音を出して楽しむことができ、子どもたちの表情がとてもキラキラしていたので発展していけるようにまた行っていきたいと思います。音を表現するのは難しかったようだったので声かけしながら表現するようにしましたが、保育士が普段から活動の中で言葉での表現が出来るようにしたり、絵本を見たりしながら音の表現など見たもの聞いたものを表現していけるようにしたいと思いました。色々な物に音が出ると感じ、それを遊びの中で楽しめる子もいたので、音の発見を子どもの発想で広げていけたらと思います。